

## 会 議 録

会 議 名	第3回東浦町景観まちづくり委員会	
開 催 日 時	平成29年1月18日(水) 午後2時から午後4時30分まで	
開 催 場 所	東浦町役場 3階 合同委員会室	
出 席 者	委 員	海道清信氏(委員長)、久米弘氏(副委員長) 出村嘉史氏、梶川幸夫氏、成田盛雄氏、竹田正 巳氏、久米義金氏、万木和広氏、青山佳子氏、
	事務局	神谷町長、近藤建設部長、服部建設部次長 久米都市整備課長、岡本課長補佐、榊原都市計 画係長、工藤主事、市川主事 株国際開発コンサルタンツ 森下氏
議 題 (公開又は非公開の別)	1 第2回委員会での議論の内容について(公開) 2 明徳寺川周辺の地区における景観まちづくりにつ いて(公開)	
傍聴者の数	5名	
議 論 内 容 ( 概 要 )	議題の議論内容については、別紙のとおり	
備 考		

**【第2回委員会での議論の内容について】**

事務局：資料1「第2回委員会での議論の内容について」説明。

委員：「明德寺川から見ると室外機等の附属設備がむき出しになっており、良好な景観とは言えない」という事について、明德寺川から見た景観に配慮しない建築物を建築すること自体が問題であり、室外機等の附属設備に限定するものではない。

委員：「現地視察した視点場も含めて、委員が共通して良好と思える視点場を選定したいと思う」について、委員が良好な視点場を決めるわけではない。あくまでも最終的にはその地域の住民が決めるものである。

**【明德寺川周辺の地区における景観まちづくりについて】**

事務局：先行的に景観まちづくりを行う地区として明德寺川周辺の地区を中心に議論いただいている。町としても「コンセンサスの得られやすさ」「波及性」等の点から明德寺川周辺の地区における景観まちづくりを先行的に行っていきたいと考えており、今回、明德寺川周辺の地区を重点区域として位置づけることを目指すための「明德寺川行動計画（素案）」を作成した。

前回の委員会にて、明德寺川周辺の地区における景観資源及び課題について検討するため、現地視察を行い、議論した。

「明德寺川行動計画（素案）」は議論の結果を踏まえ、景観特性、資源、景観形成上の問題点等をまとめ、平成29年度以降の行動計画を示したものである。詳細については、国際開発コンサルタンツより説明。

コンサル：資料2「明德寺川行動計画（素案）」について説明。

委員：前回の委員会で明德寺川周辺の地区における景観資源調査に基づく現地踏査を行ったが、景観資源調査に係る内容を「景観特性」としてもう少し反映させた内容にすべきである。

委員：明德寺川付近の県道沿道の建築物について、現状の地形に沿うことを意識した開発行為等を行うよう配慮することを記載すべきである。

委員長：景観だけでなく、防災についての配慮も検討すべきである。

委員：竹やぶについて「斜面樹林地の荒廃（竹やぶ化）が問題である」という記載があるが、竹やぶ自体が悪いわけではなく、管理されず野放図になっている

る竹やぶがいけないということが伝わりにくいので書きぶりを検討すべきである。

委員： 前回の委員会で現地踏査した際に「於大公園北側にある駐輪場からの眺望は本来良好なはずなのに木が茂ってしまい、眺望が阻害されている」ということが判明したため、於大公園北側の駐輪場の写真も載せるべきである。

委員長： 「景観特性」については、景観資源調査の内容を反映させ、再度作成し、次回の委員会で議論することとする。今回は後半の行動計画に係る内容について議論したい。意見等あるか。

委員： 今後の検討で構わないが、「農」の景観を守ることについて、農業を活性化するイノベーションを起こせるようなイベントを企画すべきだ。

委員長： 「家族連れが楽しく散歩できる」という記述があるが、「家族連れ」に限定する必要はないのではないか。

委員： 明徳寺川の良好な景観について共感を広げるプロジェクト「共感プロジェクト」について事務局案として資料説明があったが、共感プロジェクトを春夏秋冬で分ける必要はあるのか。

委員長： 行動計画なので、春夏秋冬といった時間軸で持続的に共感プロジェクトを企画するという趣旨となる。

委員： 明徳寺川付近の中学校も巻き込んだプロジェクトを検討できると良いと思う。

委員： 今年度開催した「東浦町景観まちの絵コンテスト」について行動計画にも記載があるが、当該コンテストの入賞作品に描かれた景観について議論する場を設ける等すれば、良好な景観に係る共感を広めることにつながると思う。

委員： 婚活に結びつくような共感プロジェクトを検討しても面白いと思う。

事務局： 行動計画における共感プロジェクトに係る記載内容については、あくまで事務局案なので、実際の運用については来年度以降に議論し、実現可能なものから実行していきたいと考えている。

委員 長： 事務局からの方針について異議はあるか。

委員 員： 異議なし。

委員 長： 以上で本日の議事を終了とする。次回の委員会は平成 29 年 2 月頃を予定する。